

# 国際理解 ワークショップ

International Understanding Workshop

## 実施校募集

新潟国際情報大学/敬和学園大学/新潟県立大学/上越教育大学/新潟大学

大学生,大学院生と共に世界を学ぼう!

総合学習で 外国語で 社会で 道徳で

参加型実践教育

アクティブ・ラーニング

主催:



公益財団法人新潟県国際交流協会/新潟県国際理解教育推進協議会

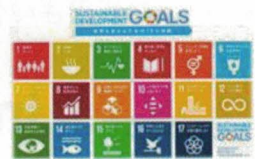


## ねらい

**国際理解ワークショップ**は、国際研究関連の専門知識とファシリテーションスキルを学んだ大学生・大学院生が、(公財)新潟県国際交流協会から**国際交流ファシリテーター**として委嘱され、新潟県内の小・中・高等学校等に出向き、現代世界の構造や多文化共生などの様々な課題について共に学び考える**参加型の学習形式**です。

グローバル教育、キャリア教育、人権教育、環境教育などSDGs\*に関わる豊富なテーマを設け、児童生徒一人ひとりが世界と向き合う場をつくり、深い学びを促します。

\*持続可能な開発目標 (SDGs) とは、2001年に策定されたミレニアム開発目標 (MDGs) の後継として、2015年9月の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」にて記載された2016年から2030年までの国際目標です。持続可能な世界を実現するための17のゴール・169のターゲットから構成され、地球上の誰一人として取り残さない (leave no one behind) ことを誓っています。



## 3つのテーマ

### 1 「世界の現実」

世界各地で起きている紛争や環境など、諸問題の実態や背景についての理解を深め、遠い世界で起きている問題を自分たちの生活との関わりから考察するワークショップ

### 2 「世界の不平等」

具体例を通して現代世界における不平等の実態と背景について学び、グローバルな課題を自分たちの生活との関わりから考察するワークショップ

### 3 「異文化理解」

世界各地域の文化の紹介を通して、他者理解・自己理解を促すとともに、他者を尊重する意識を<sup>かんよう</sup>涵養するワークショップ

※具体的なキーワードについては、「国際理解ワークショップ申込用紙」をご参照ください。



## 国際交流ファシリテーターの派遣

### 1 実施期間 9月（前期）及び2月（後期）

※原則として平日ですが、土日祝または10月以降の派遣についてはご相談ください。

### 2 所要時間 90分 ※ご相談に応じます。

例：アイスブレイク 20分～ワークショップ 60分～アンケート記入・質問等 10分

### 3 派遣チーム

国際研究関連の専門知識とファシリテーションスキルを学んだ新潟国際情報大学・敬和学園大学・新潟県立大学・上越教育大学・新潟大学の大学生と大学院生が、（公財）新潟県国際交流協会から「国際交流ファシリテーター」として委嘱され、各学校へ派遣されます。

※1チーム5～10名程度ですが、大学により異なります。

### 4 国際理解ワークショップ実施までのながれ

- ▼ 6月… 募集開始
- ▼ 7月初め… 申込締切
- ▼ 8月… 「決定通知書」の送付、学生との打合せ  
※派遣1ヵ月前にチーム代表者より打合せの連絡が入ります。
- ▼ 9月… 派遣当日 ※実施後はアンケートのご協力をお願いします。

### 5 費用 無料

### 6 お申込み・問い合わせ

新潟県国際交流協会ホームページ「国際理解ワークショップ募集要領」をお読みいただき、「申込用紙」をメールまたはFAXでお送りください。

---

#### 公益財団法人新潟県国際交流協会

〒950-0078 新潟市中央区万代島 5-1 万代島ビル 2階

Tel: 025-290-5650 Fax: 025-249-8122

Email: [nia21c@niigata-ia.or.jp](mailto:nia21c@niigata-ia.or.jp)

<http://www.niigata-ia.or.jp/jp/index.html>

---



## Voice



私たちが国際交流  
ファシリテーター  
です

(写真左) 新潟国際情報大学経営情報学部2年 後藤瞭太さん

(写真中央及びコメント) 新潟国際情報大学国際学部2年 小越花菜さん

(写真右) 新潟国際情報大学国際学部2年 上村菜々美さん

こんにちは！私たち国際交流ファシリテーターは、小中高校生を対象に、国際理解をテーマとしたワークショップを開催しています。世界で起きていることを基に、参加者に様々な事を考えてもらったり、話し合ってもらったり、体験してもらったりして、自分の中に無かった考えを発見してもらいます。参加者は熱心に私たちの話に耳を傾け、一人ひとり積極的に参加してくれます。

私たちが学校でワークショップをする際に努めていることは、全員がワークショップに参加できるようにすることです。話に入りづらい環境を作らないために、話し合いやすい人数に分かれて、そこに1人ファシリテーターが入るといった形をとっています。集中力も持続し、話し合いも円滑に進めることができます。また日々より良いワークショップを目指し、精進しています。

是非私たちと一緒に、生徒や児童の心を動かしてみませんか？

### 実施校 教職員の声

生徒が大学生との会話を楽しみながら、興味を持って世界の現状や異文化を学び、見識を深められました。(写真右) 新潟第一中学校 渡邊先生  
普段静かな生徒も、ワークショップでは自分の意見を持ち表現できていたのが印象的でした。(写真左) 新潟第一中学校 Ms. Caitlin 先生



(以下、アンケートより抜粋)

- ・大学生という存在が6年生にとってとても新鮮で、目がキラキラしていました。
- ・大学生が生徒にファシリテーションするという形も、私たち教師がやるのとは違う良さがあって、生徒たちが生き生きと活動している様子に嬉しくなりました。
- ・プロジェクター、劇、クイズなど生徒は興味を持って取り組んでいました。
- ・大変素晴らしい取り組みだと思います。教科にこそ分類されないですが、生徒に伝え、考えさせ、成長させる教育領域だと思います。

- ・ぼくは、むしがたべられることはしらなかったけど、たべられたからすごかった。(小1)
- ・自分にとってのあたり前が他の人にとってあたり前じゃなかったり、他の人のあたり前が自分にとってあたり前じゃなかったりすることが分かった。(小5)
- ・大学生の方とたくさん会話ができて勉強になりました。(中1)
- ・これから外国の人と交流する時は、相手の文化をしっかりと尊重して交流したい。(中3)
- ・言葉やニュースに惑わされず自分の意見をしっかりと持ち、偏見ということに対して学んでいこうと思います。(高2)

### 児童 生徒の声

公益財団法人新潟県国際交流協会  
新潟国際情報大学国際交流ファシリテーター事業  
新潟県国際理解教育推進協議会

新潟県知事政策局国際課／新潟県教育委員会義務教育課／新潟県教育委員会高等学校教育課／新潟県立教育センター／  
新潟市教育委員会学校支援課／独立行政法人国際協力機構東京センター(JICA 東京)／新潟大学／上越教育大学／  
新潟国際情報大学／新潟県立大学／敬和学園大学／新潟県立看護大学／特定非営利活動法人にいがた NGO ネットワーク／  
公益財団法人 AFS 日本協会新潟支部／新潟県青年海外協力協会／公益財団法人新潟市国際交流協会／  
公益財団法人長岡市国際交流協会／公益社団法人上越国際交流協会／公益財団法人新潟県国際交流協会

<http://www.niigata-ia.or.jp/>

<http://www.nuis.ac.jp/iuip/>

